

## 技術力だけでは人間成功しない。大事なものは『心』。

～社員教育の意義～



セック株式会社 テクノスクール 校長 池田 良威

## 1. プロフィール

弊社は創業者である澁谷 淳が創り上げた伝統の精神である『澁谷の心』がある。この『澁谷の心』を源流として社風を形成し、同時にこの社風を社員の指導理念としながら、創業以来42年間食品流通業界並びに2009年3月岡村製作所と合併し商環境施設に更に深耕し社会に広く貢献している。

## 2. 社員教育の意義

セックの根幹はというと、新入社員から会社の思考を植え付けることから始まる。入社して3年から5年『伸びる時期』、成長には時期というものがあり、その時期を過ぎると成長は止まり、成熟期に入る。より豊かな成熟を目指して行くよう願っている。

## 3. 社員教育とは何か

社員教育という言葉を知ると、知識、技術を効果的なスケジュールに基づいて習得させ、早期戦略化を図ること、また積極性、協調性を育てて組織の中でうまく仕事を進めていく社員を育成することと考える人が多い。この考えが間違っているとはいえないが、社員教育には別の意味で重要なポイントがあると考えている。

人は色々な形で職業に従事し、社会との関わりを持ちながら、その過程で自分自身の人間性

を磨き、自らを成長させ、完成させていく。この人生の単純な原理を基本に据えている人は、そのことによって必ずエネルギーが生じ、そのエネルギーが自律的な推進力となって自分自身をリードしていくことになる筈だ。しかし、人はともすると自分を取り巻く様々な環境のために、最も大切な自らの人生の原理を見失いがちである。社員教育の別な意味での重要なポイントとは、実はこの人生の原理とでもいうべきものを社員に気付かせ、再自覚させることなのである。

企業における社員教育とは、言葉を換えて言えば、社員の自律心によるエネルギーを尊重し、培っていくことに他ならない。従って、この確かな祖元としてのエネルギーをすでに保有している人には社員教育は不要であるとさえ言える。

もう1つ、SECにおける社員教育の重要な目的として、SEC社員の共通基盤、すなわち組織インフラ（経済的生産基盤）を社員に浸透させるという役割がある。社員一人ひとりの職務、価値観、個性は様々であってよいわけだが、それらはSECという組織インフラの理解と実践に立脚したものでなければならない。

SEC社員としてのインフラとは何か、『澁谷の心』以外はない。SECの全社員が入社後3年間を目安にして、熱い時期、しっかりと『心』を理解、認識し、『心』がごく自然な形で考え方と行動の底流になっているようにしてもらい

たいものだ。

行動の5原則 各事業所朝礼“全員唱和”

★おはようございます

一. **One strike out**

...不正、ずるいことは絶対しない

一. **Back to the now from the future**

...自己実現の為に、私は何をすべきか

一. **Business without boss**

...仕事は自分でつくる

一. **Honesty is the best policy**

...自分には不利(不都合)であっても隠し立てしない

一. **Stay Hungry Stay Foolish**

...常に貪欲に同時に愚直一途に行動する

★今日も、一日元気に頑張りますよ

#### 4. SEC社員の心構え

自己主張には、言葉という手法を使う前に、態度という方法がある。

仕事は「三つのA」、態度 (attitude)、意欲 (ambitious)、及び能力 (ability) に支えられると言われているが、まさにその通りで、どんなに能力があり意欲に燃えていても、人に対して好ましくない態度をとっていたなら、その人が仕事で伸びる可能性はゼロに等しい。

このような外に現れる態度は、その人自身の精神的な姿を自然に表すもので、その場その時だけを取り繕おうとしてもできるものではない。規律を守り、礼儀をわきまえ、ひたむきな姿勢で明るく仕事に取り組む若手社員を世の中は可愛がってくれる。この「可愛がられる」という

ことを重視して欲しいと思う。なぜなら、「可愛がられる」という自己主張は即ち、「伸びる」ということに直結しているからである。人は可愛がられることにより、意欲も旺盛になり、能力もそれなりに伸びていくものである。

#### 5. SECの企業価値

CS事業部 (customer satisfaction) のCSはお客様の満足度という意味である。

コンビニエンスストアの専門業者としてメンテナンスは欠くことの出来ない業務なのである。

サービスマンとして、最も大事なことは『ホスピタリティ』である。真のホスピタリティとは、店を訪れた際に心細やかに対応することではない。最重要視しなければならないことは、『安心・安全』であり、お客様に対して毎回のことながらこれを提供することだけでも大変な努力を要する。SECの企業価値は、全量自社の社員でやっていることである。このことは、外注と違いすぐ動けることだ。ゆとり教育世代で育った若者を世の中で通用する社会人に変身させるために、常に背中を押し続けている日々である。仕事が出来ない、学校の成績が上がらない、これはやり方がわからないのではないか。このことに気がついたらマグマ噴出のごとく行動に表れる。



あしたへの旅路(ゆとり教育から社会の荒波へ)



Coaching